



奈良県立医科大学眼科ニュースレター Vol. 28

ご挨拶

准教授 上田 哲生

もう気が付くと11月も終わりで、あと1か月もすれば12月。何かと忙しくお過ごしのことと思います。平素は、奈良県立医科大学眼科学教室の運営にご理解とご協力をいただきまして誠に有難うございます。心よりお礼申し上げます。

今年、一年を振り返ってみますと、今年も様々なニュースがありました。アメリカメジャーリーグ ロサンゼルス・ドジャース所属の大谷翔平選手は、54本塁打、59盗塁と素晴らしい記録を残しすごく大活躍されています。我々の医局でも、今年4月に入局した6名も、入局した当初はスリットランプの使い方すら不慣れであったのが、今では当直などでも立派に一人で対応でき、白内障手術も最初から最後まで交代なくやり遂げることができるようになりました。学会発表も立派に行い、西先生や辻中先生、水澤先生が一生懸命指導した成果は言うまでもありませんが、若手6名の成長は眼を見張るものがあります。今後の進化が楽しみです。近隣の先生方におかれましては、診断に困るような症例や手術希望の患者様などおられましたら、ぜひ奈良医大の方へご紹介宜しくお願い致します。

我々医療の世界では、今年から医師働き方改革が本格的にスタートしました。大学としては臨床のみならず、研究も求められます。研究は、『業務なのか自己研鑽なのか』、など様々な問題はあります。眼科はそれほど影響を受けておりませんが、脳神経外科や循環器内科など影響が大きな医局もあるようです。我々もできる限り業務の効率化などの取り組みを推進したいと考えております。近隣の関連病院や開業の先生方には、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご協力・ご理解のほど宜しくお願い致します。

急に寒くなり、本来の季節に戻った感はありますが、くれぐれも体調を崩されませんようにご自愛ください。



講演会

第25回 奈良県眼科万葉フォーラム

2024年6月29日に、グランドメルキュール奈良橿原にて行われました。まず、福井大学医学部眼科学教室 准教授高村佳宏先生に、難治性DMEに対してファリシマブの特性を生かせるか?についてお話して頂きました。硝子体注射の回数が増加している現在における問題点と今後の展望についてわかりやすくお話して頂きました。次に、日本大学医学部眼科学 教授山上聡先生に、角膜の移植医療の現況と抗原認識の新知見についてお話して頂きました。角膜移植術後の問題点や管理方法についても説明して頂き、勉強になりました。ありがとうございました。



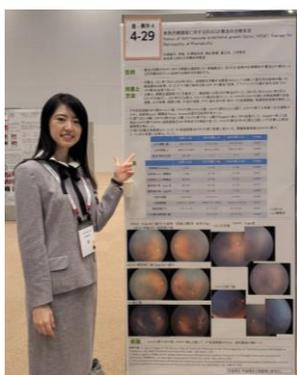
第26回 奈良県眼科万葉フォーラム

2024年10月26日に、グランドメルキュール奈良橿原にて行われました。

まず、前眼部編として東京大学医学部 眼科学教室 准教授 本庄恵先生に長期化する緑内障治療の治療選択についてお話して頂きました。緑内障の手術後の管理や緑内障点眼の選択方法について教えて頂き勉強になりました。後眼部編として、東京女子医科大学 眼科学講座 教授・基幹分野長 飯田 知弘 先生に、こう変わる！新生血管型加齢黄斑変性診療について伺いました。最新の加齢黄斑変性の分類や治療方法について、臨床から研究まで幅広くお話して頂き、大変勉強になりました。本庄先生にはマラソンのお話を、飯田先生には纏向遺跡のお話も伺うことができ、楽しく勉強させて頂きましてありがとうございました。



学会の報告



第35回日本緑内障学会

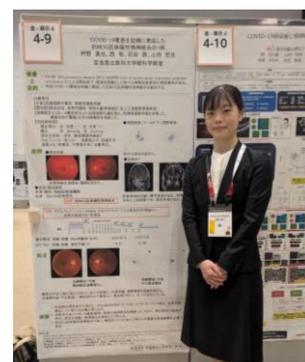
中嶋 晶生 (市立奈良病院)

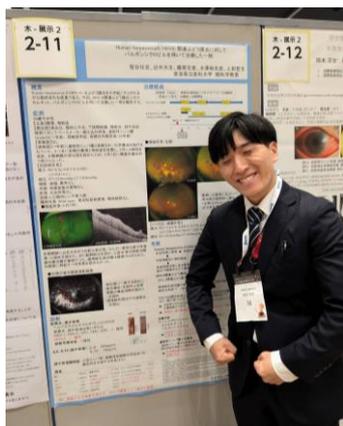
2024年9月20日～22日に姫路市で開催された、第35回日本緑内障学会に参加しました。緑内障の診断や治療について、新しい知識を得ることができました。展示会場では、実際のiStentや新しく発売される前眼部解析装置を体験し、勉強になりました。

第78回臨床眼科学会

狩野 美也 (奈良県立医科大学附属病院)

第78回臨床眼科学会にて、COVID-19罹患を契機に発症した抗MOG抗体陽性視神経炎の1例について学術展示での発表を行いました。初めての現地での学会参加かつ発表ということで緊張しましたが、何事もなく終わることができました。自身の発表以外にも、講演やインストラクションコースに参加し、非常に勉強になりました。発表に際し、ご指導くださった上田先生、西先生、諸先生方に改めて御礼申し上げます。





第78回臨床眼科学会

笹谷 壮志(奈良県立医科大学附属病院)

第78回臨床眼科学会にて、Human herpesvirus 6 関連ぶどう膜炎に対してバルガンシクロビルを用いて治療した一例についてのポスター発表を行いました。以前日眼に参加したので、学会には慣れたもの。講演やインストラクションコースは勿論ですが、清水寺や八坂神社など秋の京都を満喫してきました(冗談です)。もちろん遊んでばかりいたわけではありません。特に、シンポジウム「未来を創るのは君だ！眼科トランスレーショナルリサーチ」に参加し、まさに未来を創るのは僕の使命だと感じた次第です。まずはトランスレーショナルリサーチとは何かを調べたいと思います。発表に際し、ご指導くださった上田先生、辻中先生に熱く御礼申し上げます。

論文の報告

Accept された愛しき論文たちのご報告

辻中 大生(奈良県立医科大学)

以前から仕込んでいた研究がやっと形になり、昨年 Journal of Clinical Medicine 誌に Positive Association between Macular Pigment Optical Density and Glomerular Filtration Rate: A Cross-Sectional Study が accept されました。この研究は、CLOCK-IOL スタディのサブ解析であり、白内障術後における黄斑色素量に着目した論文であり、推定腎糸球体濾過量と黄斑色素量の間に関係が認められることを報告いたしました。細胞、マウス、ラット！的な研究を専門としておりました私にとって、疫学研究の論文作成は初めての経験でしたが諸先生方のサポートのおかげで、無事論文化することができました。スタディに途中参加であるにもかかわらず、快く受け入れていただいた西講師、予防疫学講座の佐伯教授をはじめとするスタディに関連する先生方に御礼申し上げますとともに、同じスタディ由来の他のデータも早期に論文化できるよう一層励みたいと思います！

また、本年は Japan Clinical REtina Study Group (J-CREST) にご協力いただきましたタキサン系抗癌剤の黄斑浮腫の予後調査が、Scientific Reports 誌に Incidence and prognosis of taxane-induced macular edema: a retrospective study from the Japan Clinical REtina Study Group (J-CREST) として accept されました。こちらはタキサン系抗癌剤の副作用として生じる黄斑浮腫について、その特徴と予後について全国 11 施設 27 例の患者について解析したものです。症例報告以外でタキサン系抗癌剤の浮腫について検討した論文は初であり、この論文が抗癌剤治療の一助になれば幸いです。内弁慶？の私が J-CREST に演題を出すきっかけをくださった緒方名誉教授、ご指導いただきました上田准教授ならびに J-CREST の共同演者の先生方に厚く御礼申し上げます。

昨年、奈良県総合医療センターに出向する際に緒方名誉教授から「私も出向中にたくさん論文を書いたのよ。チャンスだと思って最低 3 本は書いて帰ってくること！」とお言葉をいただき、少し遅れましたが西山先生の学位論文の指導も含め何とか 3 本書くことができました。

これに満足せず自らも更に論文を書けるようにすることはもちろんですが、今後も大学院の先生方とワイワイいながら一緒に研究ができればいいかなと思っています。

誰か、一緒に研究して！(笑)

1. Tsujinaka H, Saeki K, Obayashi K, Nishi T, Ueda T, Ogata N. Positive Association between Macular Pigment Optical Density and Glomerular Filtration Rate: A Cross-Sectional Study. J Clin Med. 2023 Aug 15;12(16):5312.
2. Tsujinaka H, Imoto S, Ueda T, Wakuta M, Yamada Y, Sugisawa T, Murao F, Hirano T, Yoshida S, Kato K, Sasaki M, Matsumoto R, Ishigooka G, Ogata N. Incidence and prognosis of taxane-induced macular edema: a retrospective study from the Japan Clinical REtina Study Group (J-CREST). Sci Rep. 2024 Aug 22;14(1):19530.
3. Nishiyama T, Tsujinaka H, Ueda T, Ogata N. Alteration in Melanin Content in Retinal Pigment Epithelial Cells upon Hydroquinone Exposure. Int J Mol Sci. 2023 Nov 27;24(23):16801.

夏の同窓会

2024年7月14日にシェラトン都ホテル大阪にて奈良眼疾患講演会が行われました。

特別講演として、九州大学大学院医学研究院眼科学教授園田康平先生にぶどう膜炎診療の現状とこれからについてお話していただきました。ぶどう膜炎の肉芽腫性と非肉芽腫性についての鑑別方法をわかりやすく解説していただき、明日の臨床へ大いに役立つ講演をして頂きました。講演会後の懇親会では同窓会の先生方と賑やかに恒例のクイズダービーを行いました。



外来診察表

		月	火	水	木	金
1診	午前	西	上田	宮田	辻中	辻中
	午後	小児・神経眼科外来	網膜硝子体外来	吉川 緑内障外来 (予約のみ)	角膜炎外来	
2診	午前	藤原	水澤	丸岡 (第1週)	小林 (第1・3・5)	西 小児眼科 (第2・4週)
	午後	網膜硝子体外来	網膜硝子体外来	丸岡 (第3・5週)	峯 (第2・4)	西 ロービジョン外来 (第2・4週)
3診	午前	保田	平井		水澤	手術日
	午後	保田	網膜・ぶどう膜炎外来		宮田 (緑内障外来)	専門外来
4診	午前	南出	南出		竹内	手術日
	午後	平井	南出		竹内	専門外来
5診	午前	名和	狩野		沢田	手術日
	午後	名和	狩野		沢田	専門外来
6診	午前		中尾 (第2・4週)		松浦	
	午後				松浦	



- ・専門外来は完全予約制です。
- ・初診の場合はまず、月・火・木の外来を受診するようお願い致します。
- ・地域連携の予約は月・火・木が8名、水・金は5名可能となっております。

編集後記

平素は奈良県立医科大学眼科学教室の運営にお力添え頂き、誠に有難うございます。ニュースレターは今回で28回目の発行となりました。先日、正倉院展でポスターにもなっている黄金瑠璃鍔背十二稜鏡を見ました。1300年前のガラスが今も光り輝いていて、素晴らしかったです。

ニュースレターでは引き続き、同窓会の諸先生方からのご投稿をお待ちしております。
tomon@naramed-u.ac.jp 奈良県立医科大学 眼科 西 智

